

幼児児童生徒代表挨拶

幼児児童生徒代表 生徒会長

中学部 3年 縄田羽珠紀

福岡聴覚特別支援学校は、今年創立 110 周年を迎えました。本日、このように数多くのご来賓の皆様方と共に記念式典に参加できることは、私たちにとって最高の喜びです。

創立 110 周年を迎えるに当たり、私たちは総合的な学習の時間に本校の歴史について調べました。昔の写真や記念誌を見たり、本校を卒業された先輩方にインタビューしたりする中で、世界的に有名なヘレンケラー女史や現在の天皇陛下が本校に来校されたことに大変驚くとともに、本校の歴史と伝統の重さを感じました。また、インタビューの中で、今まで当たり前だと思っていた、手話を使ってコミュニケーションをとり学習することや文字放送や電子黒板などのさまざまな視覚的な情報を提示する情報機器などがなかったことを知り、私たちはとても恵まれた環境で学習ができているのだと感じました。

私は幼稚部から 12 年間本校で学んでいます。毎日の学習で言葉の力やコミュニケーション力を身に付けることができました。この後発表する「よさこいソーラン」では、毎年テーマを自分たちで考え、衣装や背景、踊りを作ることを通して、仲間と協力することの大切さを学びました。また、部活動では毎日練習に取り組み、全国障害者スポーツ大会に福岡市の代表として選ばれ、最後まであきらめずに努力することの大切さを学ぶことができました。このように充実した学校生活を送ることができるのは、私たちを様々な立場から支えてくださっている皆様や、私たちをどんな時も応援してくれる家族のおかげです。本当にありがとうございます。

これから私たちが生きていく社会には、さまざまな試練や困難が待ち構えているかもしれませんが、校訓にあるように、よく見 よく聴き よく話し よく考えて行動し、更にたくましく成長していきます。これからも、友達や先生方と協力して本校の歴史を次の時代へ繋ぎ、新たな歴史を築いていくことをお誓いして、お礼の言葉といたします。